



第7号

お客様密着系地域型陶芸製産業

ガス窯作りのプロ集団・大築窯炉工業

ウラ面も情報満載!

必ず良いことがある人のために送る!

DAICHIKUのお得意様向けニュースレター

【発行日】2007年5月1日 【発行人】大築窯炉工業 谷口浩司

〒309-1611 茨城県笠間市笠間2192-5 TEL0296-72-1444 【ホームページ】http://www.daichiku.jp/

■日本初! 光る煙突 上田正樹コンサートを演出~笠間・陶炎祭~製作はダイチクの工場で...



うれしい! 楽しい!
大好きダイチク!

■こんなことができるのも陶炎祭ならではのと思う。全国各地に“陶器市”と称される催しは多いが、その多くはまさに売り色だ。買ってもおもしろい、見てもおもしろい! 聞いても、触ってもおもしろい! 薪の燃えるにおい、焼きそばを焼くにおい、足から伝わる芝の感触、陶芸家とのやり取り、陶炎祭は五感に訴えるイベントかもしれない。■その中に“光る煙突”がある。本当に光るのか? 部材は熱に耐えられるのか? 作った‘ヤマちゃん’も心配で見に来た。煙突はステージを見るには角度がありすぎる場所、だがそこから動くとはしない。それより光具合が気になる。使った鉄の厚さ、熱の上昇の具合を二人で話している。100%近い人がステージを見る中、煙突を凝視している。改良点を見つけて、アンコールの途中で帰宅した。■この“光る煙突”は日本で最初の企画だと思ふ。これをやりたい! これを作りたい! と言ってくれた3人に感謝いたします。



開催前の茨城新聞

■笠間・陶の小徑に15件目新店舗「ギャラリー爽鳳(そうほう)」開店



オーナーの小池正子さんとご家族

■4月21日、笠間・陶の小徑にやきもの新しいお店「爽鳳(そうほう)」が開店しました。爽鳳はニューヨークのSOHO(South of Houston Street)から取った名前、東京藝術大学の島田文雄教授の命名。さわやかに羽ばたいてゆく未来ある陶芸家のイメージである。店内はコンパクトではあるが、木造の落ち着いた雰囲気である。■展示品は笠間の作家さんが中心だ。主な作家名は伊藤陶房(伊藤東彦)さん、筒井修さん、寺本守さん、富田和夫さん、外山亜基雄さん、羽石修二さん、古川欽也・雅子さん、益子の島田緋陶志・恭子さん、日本工芸会理事の神谷紀雄さん、島田文雄教授の作品が並び、さながら小さなミュージアムといったところ。■オーナーの小池正子さんは飾り気のない気さくな人柄、ご自分でもロクロをひいたり、手作りの手さげバックや人形なども作られる。お店の裏には本格的なガス窯も置かれている。小池さんは「将来性ある若手作家の作品も徐々に増やしていきたいですね」と明るく話していました。

爽 SOHO 鳳
ギャラリー 小池 正子

〒309-1611
笠間市笠間2192-20
TEL.0296-72-9121(F兼)



■お知らせ ■中古品情報! 無料パレット・レンガ片

【ガス窯】0.2㎡定床式×1基(メーカー不明・外装リペア済み)

【粘土・原料】朝鮮カオリン・スーパーピンク@2,100円(5,250円相当)

【無料品】パレット、レンガ片、ファイバー片など無料にて差し上げます。

□簡単な溶接作業・作品承ります□10分以内なら無料

■ダイチクでは陶芸作品のアクセントになる鉄製品の製作を承ります。

■鉄を切る、曲げる、くっつける(溶接する)など。簡単な図面をお持ちください。

■作業時間10分以内なら無料で行います。

■くわしくは電話で→0296-72-1444

■ユーザーさん登場■大脇歩さん・ダイチクの貸し窯で経験後、独立へ!



大脇 歩さん 33歳
昭和48年10月12日生まれ
茨城県窯業指導所終了



4人でタッグを組んで工房を建築中!

4月にガス窯を購入の大脇歩(おおわきあゆむ)さん。大脇さんは弊社の貸し窯(ガス)を3年にわたり利用されていた。今回、資金の目途もつき、晴れて独立の運びとなりました。

■ダイチク...何年間、利用されましたか?

■大 脇...2004年3月から3年間です。その間は、笠間工芸の丘でバイトもしていました。

■ダイチク...年に何回ぐらいですか?

■大 脇...素焼き3回、本焼き6回ぐらいです。

■ダイチク...師事した陶芸家は誰ですか?

■大 脇...2000年に笠間に来て、まず馬場陶房に入りました。そのときは無我夢中で何をやっているのかほとんど分かりませんでした。その後窯業指導所に入所して、ロクロを2年間習いました。それまで、陶芸の本を読んでも解らなかった事が、入所して初めて理解できたことがたくさんありました。多くの仲間もできましたし、共通の意識もあって非常に充実した2年間でした。

■ダイチク...陶芸家としての夢を教えてください。

■大 脇...ずっと粉引きをやってきました。これからは粉引きをメインでやっていくつもりですが、炭化焼成にも挑戦したいです。テーマを持ってオリジナリティあるものを創っていきたく思います。

■ダイチク...貸し窯で印象に残っていることがあれば教えてください。

■大 脇...無駄がなく簡単な焼き方や、やきものの話ができたことも良かったです。

■ダイチク...窯を借りたことで「良かった」と思ったことがあったら教えてください。

■大 脇...勉強にもなるし、練習にもなりました。窯は高価な買い物なので、貸し窯で操作方法に慣れておくとうまくと助かっています。

■大脇歩さんにとっての陶芸の魅力とは■CADからロクロへ・ものづくりを実感

■以前は金属加工会社でCADを使っていた仕事でした。図面を書いても完成品の形が見えないので、ものづくりをしている実感がありませんでした。26歳で会社を辞め、「やきものをやろう!」と思い笠間に行ってみたら、とても雰囲気良かったので本気で陶芸家になることを決めました。■やきものは自分で作ったものの形が最後までわかることに心を打たれました。土練りから焼き上がりまで、すべて自分の手を掛けてあげなければならないので、自分でものづくりをしているという実感がたいへんあります。また、陶芸は奥が深いところも魅力で、窯の扉を開ける瞬間のワクワク感がいいですね。と話してくれました。



貸し窯(ガス) 窯場のような

■“灰テク穴窯・緋炎”実演会 (GW4/29~5/5)に茨城県工業技術センター・窯業指導所にて



焼成の様子



窯出しは、やはり緊張します



↑こんな感じで焼成終了!
今回は火前を白くしました。



所長の鷲野谷さんと→

●ニュースレターご購入感謝プレゼント!!!

おかげさまで大好評の当ニュースレター、感謝を込めて専用オリジナルファイル(手作り)を先着10名様にプレゼントいたします。お電話、FAX、Eメールでお申込みください。

●当ニュースレターが印刷にグレードアップ!

第7号より好評につき印刷になりました。この印刷には環境に優しい大豆油インキを使用しています。これは再生の際に紙と分離しやすいインキで、①リサイクル性が高く、②石油資源の使用抑制につながる、③土中で分解しやすい、④大気汚染の原因となる揮発性有機化合物vocを抑制できることが特徴です。

■今月の1冊 ■“粘土のはなし”白水晴雄著



■土の主成分である粘土は陶芸だけに利用されているものではありません。住宅、工業製品、化粧品、紙、医療品などさまざまです。粘土を知ることで陶芸をさらに楽しく!!

■技報堂出版より¥1,890.-

■お客様に学ぶダイチクの今月の格言■

未来に夢を! 若き陶芸家に窯を!

■ガス窯・電気窯/ダイチクの貸し窯 ご利用料金/1窯■

○ガス窯0.4㎡・・・本焼き15,000円・素焼き5,000円

○電気窯8kw・・・本焼き3,000円・素焼き2,000円

○電気窯10kw・・・素焼き3,000円

・使用期間中はポットミルの使用は無料

・電子レンジ・仮眠室あり(無料)

お申し込みは、直接または0296-72-1444(金沢)まで

*このレターの印刷には環境に優しい大豆油インキ(SOY INK)を使用しています。